

指導教員名	村上友章
-------	------

活動区分	地域活性化型	連携先	自治体・国
			学校(教育機関)

～ 神戸学生イノベーターズ・グランプリ(通称:I-1グランプリ) ～

活動の様子



フィールドワーク(船上からの写真)

企画・活動概要

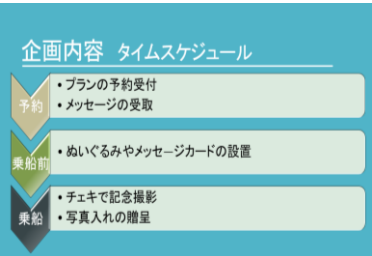
経済学部・公務員特別演習Ⅲ(2年生後期)を受講中の学生9名が神戸学生イノベーターズ・グランプリ(通称:I-1グランプリ)に参加しました。このグランプリは、社会に新しい価値をもたらすイノベーション(変革)を起こす知恵を備えた人材育成を目的に、学生らしい視点やマーケティング手法を活用して、企業や地域が直面している課題を解決・提案する企画です。9名の学生は2チーム(ラバンバラ、ソルト)に分かれて検討を重ね、中間プレゼン大会、最終プレゼン会に臨みました。

経緯・背景・目的

経済学部・公務員試験特別演習は本学の公務員試験対策プログラムの一環として1年次後期から4年次前期まで連続して開講されているもので、受講生は公務員を目指しています。本演習では狭義の試験対策のみならず、面接対策や現職公務員による講義等を通じてリアルな公務員像や仕事内容を深く学び各自のモチベーションを高めるようなプログラムも提供しています。2年次後期に開講される特別演習Ⅲでは社会共創活動に参加することを授業の中心に据え、面接試験時に必要とされる「ガクチカ」の経験を積み、コミュニケーションスキルを向上させることを目的としています。

取り組む課題

今年のI-1グランプリのメインテーマは「若者向けカジュアルクルーズの提案」。このメインテーマの下、5つのサブテーマの中から各チームで取り組むテーマを決定しました。本クラスの2チームが選んだサブテーマは「さんふらわあ船内での新サービスおよび船内イベント提案」でした。



最終プレゼン資料

本学(学生)の役割

本グランプリでは学生たちに、短期間で、現状分析や市場調査、コンセプト、ターゲット層などをまとめたプレゼンが求められます。ラバンバラは船内での謎解きゲームを、ソルトは結婚記念日を演出する企画を検討しました。他の授業プログラムとの兼ね合いで時間的制約の多い中、作業を重ね、最終的に具体的な内容や収益見込みなどについて発表を行いました。結果として入賞には至らなかったものの、他のチームとともにグランプリを盛り上げ、株式会社フェリーさんふらわあにも新鮮な刺激になったと思われます。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

本コンテストへの参加を通じて、学生が成長した点、身に付けた点は2つあります。第一に、コミュニケーションスキルの向上です。グループワークやフィールドワーク、そして他大学学生とのプレゼン・コンテスト等を通じて、コロナ禍にもかかわらず他者との濃密な対話を重ねることで、コミュニケーションスキルは格段に向上したと思われれます。その中には自分自身の弱点を把握できたという成果も含まれます。第二に、地域の現状を深く学ぶことができたということです。特にフィールドワークにおいて地域の現状を見聞きし、それをベースにアイデアを練り上げた経験は貴重な「ガクチカ」となりました。



最終プレゼン資料

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



経済学部
経済学科
准教授
村上友章(ムラカミトモアキ)

<専門・担当科目等>
公務員特別演習Ⅲ

<関係者・企業等>

株式会社フェリーさんふらわあ、流通科学大学